

【搭載トローラー】

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。使用前に本製品の機能を十分に引き出し、永くご愛用いただくために、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存していただくようお願い申し上げます。

LakeMaster CT-T 取扱説明書 SHIMANO

株式会社シマノ全国サービスネット

- 株式会社シマノ 埼玉営業所**
〒382-0043 埼玉県上尾市西宮7-9-194-1 TEL: (048) 772-6662
- 株式会社シマノ 東京営業所**
〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL: (03) 3744-5656
- 株式会社シマノ 名古屋営業所**
〒454-0012 愛知県名古屋市中区錦路6-21 TEL: (052) 331-8666
- 株式会社シマノ 大阪営業所**
〒590-8577 大阪府堺市堺区柴町3丁77番地 TEL: (072) 223-3920
- 株式会社シマノ 中四国営業所**
〒700-0941 岡山県岡山南地区青江1-6-18 TEL: (086) 264-6100
- 株式会社シマノ 九州営業所**
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤永町4-6 TEL: (0942) 83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部 本社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地
●探鳥・釣り・スキー、商品の性能・メンテナンスやアフターサービスなどに関するお問い合わせ
フリーダイヤル ☎ 0120-861130 (ノーテンイサオ) をご利用ください。
受付時間：AM9:00~12:00・PM1:00~5:00 (土・日・祝日除く)
■シマノホームページ プロシス又は <http://www.shimano.com> です。
 新製品情報・釣り情報など、ブログ・SNSなどではオンライン情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

Printed in Japan (200508) 047

- 商品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内**
 リールのメンテナンスの説明には書面で表示にいたることがあります。手紙での問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えください。お問い合わせの際は、修理箇所、不具合内容を具体的に修理に出される際には、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。修理に出される際には、お買い上げの販売店にて修理に込めたい部品、部品番号を指定の上、お買い上げの販売店にて修理に出されることをお薦めします。(例/製品名：アタラ1000S 商品コード：02425 製品コード：SD83B012 部品番号：2 部品名：アタール)
 ●弊社では、リール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間で止めています。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性があります。
 ●商品コード/製品コードの位置
 取扱説明書、分解図・パーツ図の底面部分もしくは側面に製品コードの下ラケタ及び商品コードを表示してあります。又、又、製品には商品コードが表示されています。

お取り扱い上の注意

Lake Master CT-Tは、精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。また、釣行後の手入れを十分行ない、永くご使用ください。

■安全にお使い頂く為

- 本機は防水仕様ではありません。水没した場合は直ちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げ店又は弊社フリーダイヤルにご相談ください。
- お使いになる人や他の人への危害及び財産への障害を未然に防止するため、本取扱説明書や外箱に表示された内容は必ずお守りください。本文中、及び外箱のマークの意味は次のようになっています。

《表示の説明》



この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



この表示は「人が損害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

■ご使用上の注意 使用前に必ずお読みください。



リール本体について

- 本機は淡水の止水状況でのワカサギ釣り専用リールです。河川やトローリングなど流水の中では使用しないでください。故障や事故の原因となります。
- 分解・修理・改造等をしないでください。故障や火災・感電・けがなどの原因となります。
- スプールを外した状態でモーターを回転させないでください。モーターチューブの破損、クラッチレバーの磨耗・発熱などから火傷・火災や故障の原因となります。
- スプールを外した状態やスプール固定ナットをゆるめた状態で **A・B** ボタンを押し続けしないでください。
- 万が一、使用中に異常な音、異常な発熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げの販売店または弊社フリーダイヤルにご相談ください。放置すると事故・火災などの原因となります。
- 電池が新しいにもかかわらず、スプールの回転が著しく低速であったり、回転しない場合は、ただちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げの販売店または弊社フリーダイヤルにご相談ください。放置すると事故・火災などの原因となります。

メンテナンスのご案内

●モーターチューブの交換

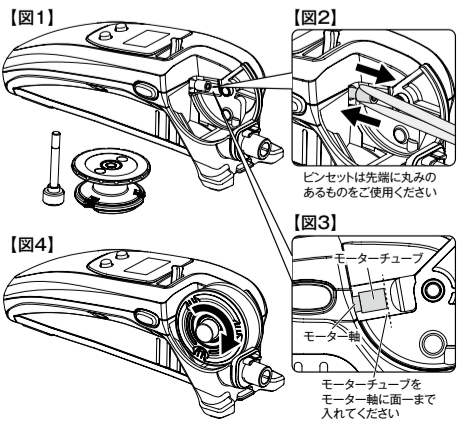
- ①スプール軸をゆるめ、スプールを【図1】のように外してください。
- ②モーターチューブを指先もしくはピンセットで軽くつまみ、モーターチューブを外してください。【図2】
- ※注意 ピンセットの先端に丸みのあるものをご使用ください。モーターチューブを先端が突ったピンセットで取り外しや取付けを行いますと、チューブが千切れたり変形したりしてしまう可能性があります。
- ③交換用のモーターチューブをモーター軸に入れてください。【図2】
- ※【図3】の位置までモーターチューブを入れてください。また、チューブがまっすぐになるように取り付けてください。振動、異音の原因になります。
- ④スプールを取り付け、スプール軸をしっかり締め込んでください。【図4】

●オーバーホール

ベアリングやモーター、モーターチューブは消耗品です。長期間ご使用されると初期性能が出なくなります。シーズン前にオーバーホールに出されることをお勧めいたします。(有償)

●修理

モーターはおお客様ご自身で交換は出来ません。弊社アフターサービスで交換となります。(有償)



●電池について

- 指定以外の電池を使わないでください。
- 新旧・異種電池の混用はお止めください。液漏れ・破裂・発熱・発火の原因となります。
- 電池の極性 (+ と -) を逆に入れてください。
- 火の中への投入、加熱、+ と - 極間のショートをしないでください。
- 電池の液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明や目に障害を発生する恐れがあります。

注意

リール本体について

- 釣り以外の目的に使用しないでください。
- 糸が勢いよく出ているときは、糸に触れないでください。糸で指を切る恐れがあります。
- 勢いよく回転しているスプールには触れないでください。けがをする恐れがあります。
- クラッチレバーを強い力で押し付けしないでください。機能障害や割れてけがをする恐れがあります。
- 火気やストーブのそば等、高温になる場所で保管・使用はしないでください。変形や故障などの原因となります。
- お手入れ時、シンナー・ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤はご使用にならないでください。変形や故障などの原因となります。
- 直射日光・高温・多湿を避けて保管してください。
- 落下などの衝撃を与えないでください。破損、内部電子部品の損傷、故障を起こす恐れがあります。
- 戻手ロープ取り付け穴に戻手ロープを取り付けた場合でも、強い衝撃で外れる場合があります。お取り扱いには十分ご注意ください。
- 巻込防止ガイドに強い衝撃を加えないでください。曲がる恐れがあります。
- 糸がスプールの下に挟まった場合は、無理に引っ張らず、電源をOFFにしてスプール軸をゆるめ、スプールを外してから糸を取り外してください。
- 何度も巻き上げを繰り返すと巻き上げ速度が遅くなる場合があります。
- マグネットの周囲、上に置かないでください。モーターの誤動作、ラインの誤表示の原因となります。
- ご使用の際は必ず戻手ロープを取り付けてください。誤って水中に落下させると故障の原因となります。
- 液晶面に力を加えると、防水機能が低下し、故障の原因となることがあります。液晶面には力を加えないでください。
- 液晶の表面は傷が付きやすいので、画面をふくときは十分に注意してください。
- メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。
- 本体を改造したりしないでください。電動リールの性能を損ない、安全機能が働かなくなりけがをしたりする恐れがあります。
- 船べり停止位置は巻き上げ張力等によってズレる事があります。停止位置がズレてきた場合は「0セット」して補正してください。停止位置がズレると竿の穂先を折ったりする恐れがあります。

- メンテナンス後にドライヤーや発熱器具を使つての乾燥は止めてください。樹脂が変形したりする恐れがあります。

- 図のリールの足部にマグネット(別売)を付けることで、プレート(磁性金属)に固定できます。



リール落下防止や大型ワカサギが掛かって仕掛けが重くなった時のリールの浮き上がり防止にお勧めです。
 ※マグネットは付属していません。

●電池について

- 長時間使用しない場合は、必ず本体から電池を取り出して保管してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの原因となります。
- 電池を保管・捨てる場合は、接点部分にテープを貼る等の絶縁を行ってください。
- アルカリ電池を推奨します。マンガン電池ですと使用時間は半分程度となります。
- Ni水素電池等の充電電池を使用した場合は電池残量マークは正確に表示されません。目安として4、5時間の釣行時は予備電池をご持参ください。
- 電池マークは目安としてご覧ください。

●ロッドについて

- 根掛かりは、ロッドを介さず糸を手にとって外してください。その際、糸で手を切る場合がありますので、手袋やタオルで手を保護してください。
- 仕掛けを巻き上げる際に、巻き過ぎますとサルカンや仕掛けがロッドのトップガイドに当り破損を招く恐れがあります。巻き上げの際は、トップガイドの先にゆとりを持たせて取り込んでください。
- ロッドは規定サイズのロッド元径をロッド取り付け穴に押し込み、簡単に抜けないことを確認してください。ゆるんだ状態でご使用になりますと、破損や折れを招く恐れがあります。また使用中、振動によりゆるむ場合がありますので、時々ご確認ください。

仕様

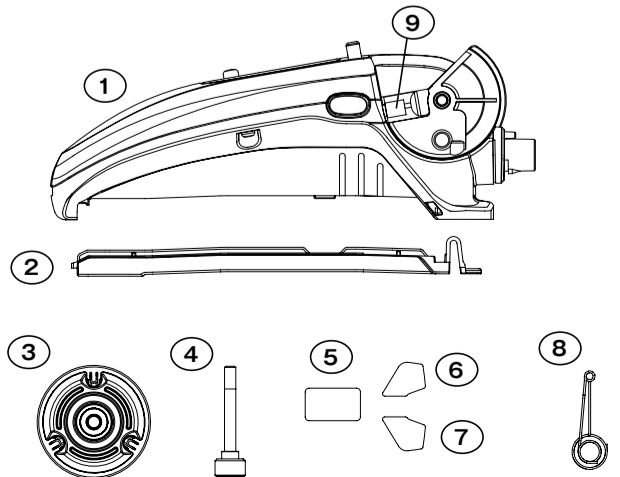
●電池仕様

アルカリ乾電池単4×2本(別売)
 連続使用7～9時間、DC 3.0V以上で動作

※製品改良のため、仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

交換パーツ用分解図

部品番号	部品名
1	本体組
2	電池カバー
3	スプール組(ブレーキ力調整可能)
4	スプール軸
5	クッションシートA
6	クッションシートB
7	クッションシートC
8	巻込防止ガイド
9	モーターチューブ



レイクマスター CT-Tの特徴 デジタルカウンターが搭載されており、いろんな便利機能が搭載されています。

1 バックラッシュ(糸ふけ)防止システム。
仕掛けをおろす時、スプールの回転にブレーキをかけてバックラッシュを防止します。
バックラッシュを防ぐことで、糸絡みを防止します。
※最大ブレーキ力は製品によって異なる場合があります。
※出荷時のブレーキ力はゼロにしています。

2 グリップカアップ。
濡れた指先でも滑りにくく、質感に優れたマットラバーコーティング採用。リールを握る力を軽減でき、手感覚UPや疲労軽減の効果があります。
※ボディ下部のみ、マットラバーコーティングしています。

3 5cm刻みの水深表示。
マーカのない糸をご使用されても、釣りの水深が一目で分かります。

4 船べり自動スローストップ(水上モードOFF)。
仕掛けを掴みやすい位置に停止させ、Oセットをしてください。次回からもその位置「0.00」で止まってくれますので手返し抜群です。又、止まる手前の約1mからはスローな巻上げに変化しますので、仕掛けが急激に止まるとのワカサギのハリ外れを防ぎます。
※穂先付近でのOセットは行わないでください。
※減速スピード(速さ)を設定することはできません。

5 巻き上げスピード調整。
巻き上げのスピードを7段階で調整できます。

6 糸落スピード表示。
フォール時のスピードを表示します。(単位:m/s)
※メリット フォール中、アタリが良く出るフォールスピードの目安や、棚まで速く到達させたい時のオモリ選択の目安になります。

7 左右巻き上げボタン機能切り替え。
左右のボタンA、Bはそれぞれ「チョイ巻き」「連続巻き上げ」と機能が分かれています。お客様の好みにより機能を入れ替えることができます。

8 電池残量表示。
電池残量を3段階で表示します。
釣行前に残量をご確認頂き、楽しく釣りをするためにも必ず予備の電池を

ご持参ください。標準はアルカリ単四電池2本となっていますが、マンガン電池でもご使用出来ます。その場合、使用時間、巻き上げ速さが極端に短く、遅くなります。
※**ご注意** このリールはスプールの回転をマグネットを使ったホール素子と呼ばれる電子部品で読み取っています。従いまして、リールのスプール周辺に他のマグネット製のものを持っていくと誤作動を起す場合がありますので極力他のマグネット製品から遠ざけてご使用ください。

9 指定糸巻学習機能。
電子制御されており、ナイロン、フロロ、PEの主要な糸の種類、太さ(号数)を選択し、任意の糸の長さを巻き取ることで、リールがご使用になる糸を学習します。
※糸の種類、糸巻き形状、ラインテンションの変動により、デジタルカウンター表示と実際のラインの長さが大きく変わることもあります。目安としてご使用ください。

10 自動棚停止。
デジタルカウンターに棚を入力するだけで次回から仕掛けが自動でその棚で止まります。
※棚停止機構は2m以上有効です。使用環境により、設定した棚位置より学習が生じることがあります。

11 水上モード(ON/OFF切替可能)。
船べり停止の手前で、巻上スピードをスローに切り替えるモードです。切り替え位置は設定が可能です。(位置設定:0.5~2m【単位0.5m】、初期設定:水上モードON/位置1m)
※水上モードON時の減速スピードは、水上モードOFF時よりも遅いスピードになります。
※水上モードON/OFFに関わらず、減速スピード(速さ)を設定することはできません。
【メリット】

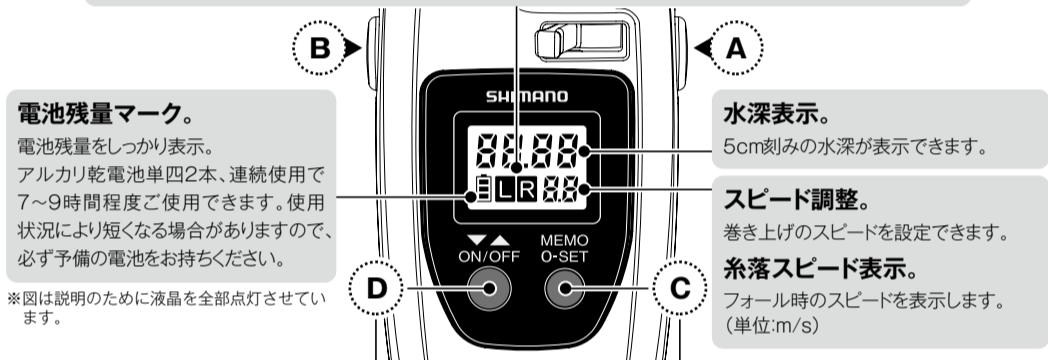
船べり停止の手前で自動的にスロースピードに切り替える事で、仕掛けのハリが氷の角(裏)に深くささることを防ぎます。
深くささらなければ、オモリの重さを利用して素早くハリを外せます。

12 船べりアラーム(アラームON/OFF切替可能)。
巻上げ中、水深4mより2m間隔で「ビッ」、水深0mで「ヒビッ」と鳴り、仕掛けが船べりに近づいて来るのをお知らせします。
竿先を見なくても素早く魚の取り込みに対応が可能になります。

各部の名称と働き

LR切り替え。

A、B部分に巻き上げボタンを装備しています。R表示の場合は下記の設定で作動します。(初期設定)
A ... チョイ巻き。(押し続けている間だけ巻き上げ)
B ... 連続巻き上げ。(一回押しすと、船縁まで連続で仕掛けを巻き上げます。)
C/Dボタンを同時にチョイ押しすることでA、Bの機能を左右切り替え可能です。
L表示の場合は上記の逆で作動します。



電源ON(長押し)	Oセット(長押し)
電源OFF(長押し)	
学習モード(同時長押し)	
学習モード指定値選択(チョイ押し)	学習モード指定値決定(長押し)
	学習モード終了(長押し)
巻き上げ速度変更(チョイ押し)	
左右ボタン切替え(同時チョイ押し)	

※チョイ押しは1秒未満、長押しは3秒以上押ししてください。

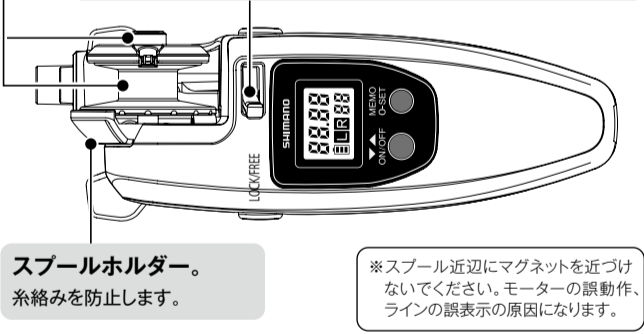
スプール(ブレーキ力調整可能)。

ベアリング2個搭載。軽負荷落下抜群!

【メカニカルブレーキ対応】
スプール軸を締め込むとスプールの回転にブレーキがかかり仕掛けをおろす時のバックラッシュを防止します。
※出荷時のブレーキ力はゼロにしています。
※スプール軸をゆるめ過ぎるとモーターが回転しなくなりますのでご注意ください。
※最大ブレーキ力は製品によって異なる場合があります。

ブレーキ調整
弱 強
スプール軸

クラッチ。
手に包み込んだ状態で、人差し指でクラッチ操作が可能。クラッチOFFの状態でもモーターONすると、自動でクラッチはロックになります。



スプールホルダー。
糸絡みを防止します。
※スプール周辺にマグネットを近づけないでください。モーターの誤動作、ラインの誤表示の原因になります。

ラインストッパー。
糸止め3ヶ所。棚決めの際にご使用ください。
商品コードです。製品のお問い合わせ、修理の際にお知らせください。

クッションシート A/B/C
※付属の専用クッションシートを上図の様に底面に貼ってご使用ください。

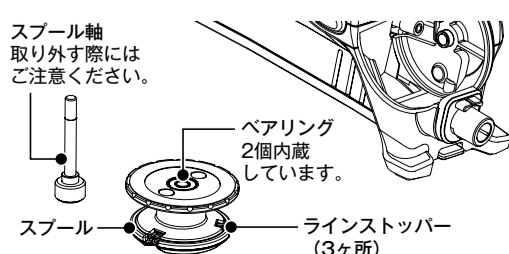
尻手ロープの取り付け位置。
尻手ロープが取り出しにくい場合は先の尖った物で引っ張り出してください。

電池ボックス。
この部分に単四が2本入ります。

巻き上げボタンA、B。
左右に装備。

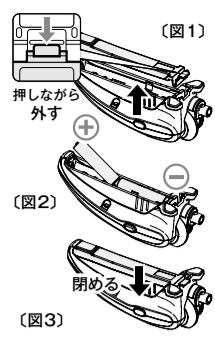
スプール部分の分解

スプール軸をゆるめて取り外しするとスプールの取り外しが可能です。取り外しの際は右図をご参照ください。
※**ご注意** スプール軸をゆるめすぎるとA、Bボタンを押しても構造上モーターが回らなくなります。締め込んでご使用ください。



操作方法

1 電池の入れ方。
1. 電池カバーを(図1)の様に外してください。(無理に力を加えると破損する恐れがあります)
2. ナーの向きを間違えないように入れてください。(図2)
3. 電池カバーを(図3)の要領で閉めてください。(低温環境でご使用時、電池容量が低下することがあります)

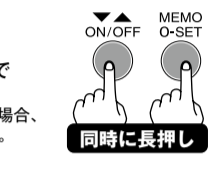


2 電源のON/OFF。
●ON/OFFボタンを3秒以上押しと電源がONします。
●消す場合も同じボタンを3秒以上押しせばOFFになります。

3 ご使用になる糸をリールに学習させます。
このリールは電子制御されているリールです。糸を巻かれる場合は巻かれる糸の種類、巻かれる糸の号数を選択していただきます。お客様任意の糸の長さを巻いていただく必要があります。内蔵している糸の種類、太さは下表を参照してください。

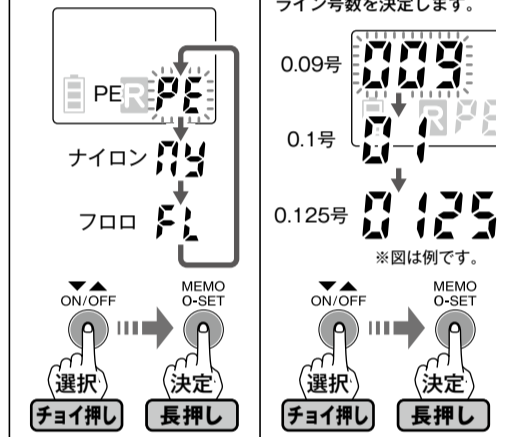
PE	0.09号、0.1号、0.125号、0.15号、0.175号、0.2号、0.25号、0.3号、0.4号、0.5号、0.6号
ナイロン	0.3号、0.4号、0.5号、0.6号、0.8号、1.0号
フロロ	0.15号、0.2号、0.3号、0.4号、0.5号、0.6号、0.8号

それではさっそく糸巻き学習を始めましょう。
C/Dボタン同時長押し(3秒以上)で学習モードへ
※糸巻き学習モードをキャンセルされる場合、C/Dボタンを同時長押ししてください。
水深表示に戻ります。



1 ライン種類の選択
ライン種類が点滅します。
Dボタンを押すごとにPE・ナイロン・フロロが順に切り替わります。
巻かれるライン種類を表示させてください。
Cボタンの長押しでライン種類を決定します。

2 ライン号数の選択
ライン種類決定後、ライン号数が点滅します。
Dボタンを押すごとにライン号数が順に切り替わります。
巻かれるライン号数を表示させてください。
Cボタンの長押しでライン号数を決定します。



3 ライン巻き取り量の入力
続いて「0.00」(巻き取り量)が点滅します。スプールに任意の長さの糸を巻いてください。巻き取りはチョイ巻きのみです。巻き取り量が表示されます。
学習モードを終了してください。

※**ご注意** 糸を巻かれる場合はスプールに偏って巻かず、均等になるように巻いてください。99.95mまで学習可能です。それ以上の長さは学習できません。

学習モード終了
水深「0.00」が表示されます。

※糸を巻き込みすぎたり、糸を出しすぎた状態でOセットを行われますと糸巻き学習が狂ってしまいます。絶対にお止めください。

4 専用クッションシートを貼りましょう。
付属の専用クッションシートを左図の様に底面に貼ってご使用ください。

5 竿をリールにセットしましょう。
リールの穴径は5mmです。無理をせず竿の取り付け穴に竿を奥まで取り付けてください。無理をして取り付けますと竿を破損する場合がありますので注意して取り付けください。
振動で緩む場合がありますので、釣りをされている時にも時々ご確認ください。

6 仕掛けをセットしましょう。
ガイドに道糸を通し、仕掛けを結んでください。
※穂先に仕掛けを巻き込まない為に

サルカン等 結び目 巻込防止ガイド
ロッドの長さより長めに設定してください。

慣れない間は穂先付近でOセットせず50cm程度余裕を持って行うようにしてください。
※上記設定を行わず、穂先に仕掛けを巻き込んでの穂先破損に関して弊社は一切責任を負いません。

7 Oセットを行いましょう。
「Oセット」とは仕掛けを掴みやすい位置に持ってきた状態で、O-SETボタンを長押しすればOKです。次回からはその位置で仕掛けが止まります。又、スローストップが入っていますのでその位置の約1m手前からスローな巻上げになります。
※糸の種類、スプールの糸巻き形状、諸条件により、カウンター表示水深と実際の糸の長さが変わってしまうことがあります。
※穂先付近ぎりぎりでOセットはお止めください。ご使用される糸の種類、特にナイロン糸は伸び縮みしますので仕掛けが穂先に巻き込まれ竿を破損してしまいます。
※アラーム機能がONの場合、Oセット機能作動時、「ヒビッ」と鳴ります。

●又、道糸が途中で切れてしまった「高切れ」の場合も、仕掛けを結び直し、仕掛けを掴みやすい位置に持ってきた状態でOセットボタンを長押しすると、マイコンが自動で道糸の長さを再検出し正確に表示してくれます。

8 糸の出し方、止め方。
●クラッチを「FREE」に倒すと、スプールフリー状態になり糸が出て、仕掛けを落下させることができます。
底まで一気に落とすしてしまうとバックラッシュの原因となるので、スプールの指をあて、サミングしながら落とします。
●クラッチを「LOCK」にすると、糸は出ません。(強く引っ張ると出ます)

9 棚を決めましょう。
「自動棚停止を使う」:
本製品には自動棚停止が搭載されています。自動棚停止はデジタルカウンター表示2m以上で有効です。使用環境により、設定した棚位置より学習が生じる場合があります。
●**棚停止記憶**... 停止させたい棚でMEMOボタンをチョイ押しします。水深表示部分が2度点滅すれば記憶完了です。リセットするまではその棚で仕掛けが何度でも止まります。
●**棚停止リセット**... 2つの方法があります。
① MEMOボタンを連続で素早く2回チョイ押ししてください。水深表示部に「0.00」が2度点滅すればリセット完了です。
② 水深表示2m未満で、MEMOボタンを1回チョイ押ししてください。水深表示部に「0.00」が1度点滅すればリセット完了です。
※①のみ、アラーム機能がONの場合、「ヒッ」と鳴ります。
【ラインストッパーを使う場合】: クラッチを「LOCK」にし、スプールもしくはモーターで巻き上げ、棚を決めます。棚が決まったら、スプールの付いているラインストッパーに道糸を引っ掛けます。そうすると次回からも同じ棚で止めることができます。

10 モーターでの巻き上げです。
リールの左右にA、Bボタンが付いています。どちらを押しても巻き上げ動作になりますが、押している間だけ巻き上げる「チョイ巻き」と一度押しと船べり停止位置まで自動に巻き上げてくる「連続巻き上げ」が分かれています。(もう一度押しすと停止します。)
●初期設定ではAボタンが「チョイ巻き」、Bボタンが「連続巻き上げ」に設定しています。(液晶画面でR表示がある場合、この設定になっています。)
●ボタンA、Bの機能を入れ替えることも可能で、C/Dボタンを同時に押すと液晶画面のRとLが交互に入れ替わります。L表示の時はAボタンが「連続巻き上げ」、Bボタンが「チョイ巻き」となります。ご自分の使いやすい設定で行ってください。
●連続巻き上げ中に「チョイ巻き」を押すと「チョイ巻き」に切り替わります。その逆は切り替わりません。
又、クラッチがフリー状態で、A、Bボタンどちらかを押し、巻き上げ動作になるとクラッチは自動で「FREE」から「LOCK」に切り替わり、巻き上げることが可能となります。
※**ご注意**
水深表示0cm以下ではチョイ巻きしか動作しませんが、穂先巻き込みには十分ご注意ください。
スプール固定ナットをゆるめすぎるとA、Bボタンを押しても構造上モーターが回らなくなります。締め込んでご使用ください。

11 巻き上げの速さを設定しましょう。
巻き上げの際、お気に入りの速さに設定する事が可能です。各設定は下表を参照してください。

L	1	2	3	4	5	H
0.8m/s	1.5m/s	1.8m/s	2.0m/s	2.2m/s	2.4m/s	2.8m/s

初期設定はHとなっています。
設定を変えるのは、
Dボタンをチョイ押しすると巻上スピードが変わります。
その日の状況に合わせ設定してください。
※**ご注意**
スピードはあくまで目安です。電池の状況、負荷によっても変化しますのでご自分で設定を調整してください。
チョイ巻き、連続巻き上げ別々の設定はできません。

12 船べり自動スローストップ。
巻き上げている時、船べり停止位置「0.00」の手前約1mから巻き上げがスローになります。急に止まると、その衝撃でせっかくのワカサギが針から外れてしまう事がありますので船べり自動スローストップ機能が入っております。故障ではございません。

13 さあ釣り開始です。
快適な釣りが行えるよう、実釣前には必ずリールが正常に稼働するか確認して実際に備えてください。
●道糸は古くなっていないか?
●電池はOKか? 予備の電池は持ったか?
●モーターチューブは痛んでいないか、それなりのトルクで巻き上げられるか?
●スプールフリーの回転は正常か?
楽しい釣りをするためにも上記程度のご確認をお願いいたします。

■その他の仕様
●**水上モードの設定方法**
① 電源ONの状態(画面①)でON/OFFボタンを6秒押し続けてください。3秒でカウンターが消灯しますが、そのまま押し続けてください。画面②が表示されたら、ボタンを離してください。
② 巻き上げスピードをスローに切り替える位置を設定してください。
船べり停止位置から手前0.5~2m(単位0.5m)の間で設定することができます。(初期設定1m)
ON/OFFボタンを押す毎に「H1.00」→「H1.50」→「H2.00」→「HoFF」→「H0.50」順に切り替わります。お好みの数値を選択し、MEMOボタンを押してください。(設定完了)

●**船べりアラームのON/OFF設定方法**
水上モードの設定が完了したら、船べりアラーム設定画面③が表示されます。(初期設定アラームON)
ON/OFFボタンを押す毎に「Aon」→「AoFF」順に切り替わります。お好みの設定を選択し、MEMOボタンを押してください。(設定完了)

●**電源オートOFF機能**
電源ONの状態1時間放置されると自動的に電源OFFになります。
●**電池残量が少なくなりますと(電圧低下しますと)自動的に電源がOFFになります。**巻き上げ等モーターがONになりますと自然的に電圧は低下します。魚が掛かったのに巻き上げられないことにならないよう早めの電池交換をお勧め致します。

●**モーターリミッター**
スプール回転が止まったままモーターONの状態が5秒以上続いた場合、リール保護のためにモーターを停止させます。故障ではございません。

